

リズム遊び，リズム運動，およびダンスにおける幼児， 児童，生徒のレディネスにあった系統的学習指導法

(その2)

西谷 怜子 大久保 和子
荒木 恵美子 磯島 紘子

はじめに

学校ダンス（リズム運動）の学習指導を効果的に進めるために，対象の心身の発達の状態を，身体的，知的，情意的，経験的な面から知るべく研究をすすめてきたが，今回は前号にひきつづき，ダンス（リズム運動）の重要な要素であるリズムをとりあげ，動きの面に焦点をあて，その発達の様相を調査し，さらに，3才児，4才児のリズム遊びに関連があると思われる諸要素を探るための実験を試みたので報告する。

実験Ⅰ リズム反応テスト

1. 目的

リズムとは，一般的には時間的な区切りとか，現象が周期的にくりかえされる状態などと云われるが，ダンスにおいて，かもし出すところのリズムは，身体の，主として大筋を媒介としての時間的，空間的な流れを生命とするものである。うごきのリズムについての体系化がなされていない現状において，ダンス指導が行きづまりを来すのは当然のことと云えよう。そこで，音の時間的な流れに生命を持つ音楽のリズムパターンを基として，そのリズムへの反応の状態をしらべ，うごきのリズム分類への足がかりとしようとするものである。

2. 期間および対象

昭和43年5月，3才，4才，5才，6才，小2年，小5年，中2年，高2年，それぞれ20名ずつ。

3. テストの方法

聴覚刺激として用いる音楽のリズムパターンの抽出については，岡山市内幼稚園，小学校，中学校，において使用している音楽教科書よりすべてのリズムパターンをあげ，第1表のように分類し，その中から代表的と思われるものを24パターン選んだ。テストの要領は次の通りである。24のリズムパターンを，M.M. ♩ =120の速さで，タイコによるもの，およびピアノによるメロディをともなったものを，それぞれ，4小節1フレーズで2回続けて録音し，これを1フレーズ聞かせたのち，即興により自由にうごかせ，そのうごき，およびうごきのリズムについての観察を行った。

4. 結果の処理と考察

- (1) 各リズムパターンの反応結果は，第2表に示す。タイコによるリズムの場合と，ピアノによるメロディをともなった場合を比較してみると，リズムのみによる場合の方が，リズムパターンに忠実にうごく傾向がみられた。このことは，メロディによる方

第1表 リズムの分類

	$\frac{4}{4}$, $\frac{2}{4}$, $\frac{3}{4}$	$\frac{6}{8}$
分	基礎リズム かるいシンコペーションを含むもの ♪ を含むもの ♪ を含むもの 2拍中にシンコペーションを含むもの	基礎リズム かるいシンコペーションを含むもの ♪ を含むもの 2拍中にシンコペーションを含むもの
類	長短の音符を含むもの ♩ を含むもの	長短の音符を含むもの

が、そのパターン内で自由にうごけたことのあらわれであると思う。

- ① 年代別にみると、3才児の多くは、テストに対して無関心で自分の勝手なリズムでうごき、タイコの音にもピアノのメロディにも全く関係ない状態である。4才、5才、になると拍子にあわせてうごける者がみられ、6才ではほとんどの者が拍子に対しては反応を示すようになる。リズムを感じてうごけるようになるのは小学校2年以上のようである。
 - ② リズムパターン別にみると、リズム通りにあわせてうごいたパターンは、全体的には、1 ♪♪♪ 9 ♪♪ 10 ♪♪ 15 ♪♪♪ 21 ♪♪♪ の基礎リズムであり小学校2年から比較的良好に合わせたリズムは、11 ♪♪ 17 ♪♪ である。他のリズムパターンについては、自分のうごきやすいリズムでうごいたと云える。
- (2) 与えられたリズムパターン内で自由にうごいたリズムの記録は、第3表に示す。これによると、幼児においては拍子のリズムが多く、年代が進むにつれて種類が増え、その分類としては、どの拍子も基礎リズムが圧倒的に多い。
- ① 拍子別のその分類による頻数については、第4表bの欄に示す。基礎リズムの他 $\frac{4}{4}$ では、♪ を含むもの、かるいシンコペーションを含むもの、♩ を含むもの、♪ を含むもの、長短の音符を含むもの、などが多く、 $\frac{2}{4}$ では、♪ を含むもの、 $\frac{2}{4}$ では、長短の音符を含むもの、かるいシンコペーションを含むもの、 $\frac{6}{8}$ では、かるいシンコペーションを含むもの、が多くみられた。むつかしいため敬遠するだろうと予想していたシンコペーションを含むリズムを、案外身体でこなしていることが興味深かった。
 - ② 自由にうごいたリズムパターンについてその傾向をみると、与えられたリズムを全く無視して自分の好きなリズムでうごいたと思われるものと、リズムを感じながらもその通りにうごけなかったと思われるものがある。例えば、前者については、与えられたリズム(第2表1~24)に対して、♪♪, ♪♪, ♪♪, ♪♪, ♪♪, ♪♪, など、後者については、♪♪, ♪♪♪, ♪♪♪, などが考えられる。また、自由にうごいたリズムの中で幼稚園~中学校までの音楽教科書にみられないリズム(第3表・印)を見ると、前者に該当するリズムが多く、これらがうごきのリズムの特徴らしいことを表わしているように思われ、注目すべきであろう。
- (3) うごきの種類については、第5表に示す。3才においては、歩く、両足とび、走る

四つ這い，等に限られていたが，4才から，片足とびやスキップなどが増え，年代が進むにつれてその種類が多くなり，ことに中学校～高等学校においていちぢるしかった。

以上の結果から，幼児においては，主として拍子のリズムで，歩く，両足とび，走る四つ這い，などのうごきを1小節位で行い，小学校2年以上になると，2小節を1フレーズとして自由にうごくことがわかった。また，どの年代も多く用いたリズムは基礎リズムであることから，ダンスにけるリズム指導では，幼児については主として基礎リズムを指導し，年代の進むに従って符点を含むもの，シンコペーションを含むものなど，その種類の巾を広げて行く指導が大切だということが云える。今後は，さらにリズムの種類を広げてテストを行い，より多くの資料を収集し，うごきのリズム確立の方向へ発展させたい。

備考　リズムの分類，および，リズム反応テストのメロディの作曲は本学長尾洋子女史によるもの。

実験Ⅱ　　3・4才児のリズム遊びを発達させる諸要素について

1. 目　　的

幼児の生活はすべて遊びであり，リズム遊びは遊びから発展すると言われる。そこで，実験Ⅰにあらわれた動きの基盤となるものは何かについて，3・4才児を対象に，その生活から探ろうとするものである。先ず，幼児の生活の中でもっとも自主的に，しかも総合的な活動である自由遊びを観察し，身体の律動性の面から律動運動能力，およびリズム遊びに関係があると思われる運動能力をテストし，幼児のリズム遊びの指導の一資料にしようとするものである。

2. 実験期間および対象

期間　昭和43年6月

対象	岡山市津島保育所	3才児（男11名　女10名）
		4才児（男12名　女7名）
	岡山市南方保育園	3才児（男10名　女14名）
		4才児（男8名　女17名）
	総社市中央保育所	3才児（男4名　女1名）
		4才児（男5名　女1名）

3. テストの方法

(1) 自由遊びの観察記録

3・4才児男女計8名について，午前と午後の1時間ずつ屋内と屋外における動作の種類および頻数を観察記録する。

(2) 律動運動能力テスト

幼児教育叢書第7集の中の律動運動能力表を参考にし，次の2通りを行なう。

① 移動方向を加えたもの

② 速度の変化を加えたもの

(イ) 普通の速さで……………	M. M. ♪	=128.5
(ロ) 遅く……………	M. M. ♪	=104
(ハ) 速く……………	M. M. ♪	=146

(3) 運動能力テスト

① ボールつき

直径15cmのゴムボールをつき、その回数を測定する。

② 棒上片足立ち

3×3×30cmの棒上に棒と平行に片足で立っていることのできる時間を計測する。左右の足それぞれ3回ずつ測り、それぞれの最高値を平均したものを測定値とする。

③ 連続片足とび

25mの直線コースを片足で連続的にとび、力の続く限り折り返し往復し、中止した地点までの距離を計測する。

④ 連続両足とび

③と同じ要領で両足とびで行なう。

4. 結果の処理と考察

(1) 自由遊びにおける動作の種類と頻数は第6表に示す。全体的にもっとも多く表われたのは、歩く、立ち上る、走る、しゃがむなどの動作で、腰かける、両足とび、山の登りおり、懸垂などが次に目立っている。はう、坐る、立つ、歩くという一連の移動運動は乳児期で発達し、3才児期では充実する段階であり、走る、両足とびなどの運動は3才児期に急激な発達を示している。また、3才では、律動運動としての動作の種類は14種類でその頻数も少ないが、4才になると、動きも活発になり行動範囲も広がって、律動運動としての動作の種類は18種類に増し、頻数も多くなってきている。(第7表参照)中でもスキップと片足とびは、4才になると急激な発達を示している。ツーステップとホップは3才では全く表われていないが、4才になるとわずかに表われてきているのは、発達の段階として注目したいことである。

(2) 自由遊びにおいて表われた動作が律動運動能力としてどのように発達しているかを調べた。その結果は第8表および第1図に示す。歩く、走る、ころがる、はうなどの運動は、3・4才ともほとんどのものができており、スキップ、ホップ、ギャロップ、連続片足とびは、4才でいちじるしく成績が伸びている。これらの運動は、自由遊びにおいて頻数が増加していることから、この年代において発達するものと思われる。3・4才ともに出来ないツーステップは、この年代ではまだ難しいようである。このことの追究も興味ある問題の一つであろう。ほとんどの種目において男女差は見られないが、スキップとホップについては女兒の方が優れている。

これらの律動運動能力に移動方向を加えたテストの結果を見ると、スキップとホップを除く種目については、前進、後進、横進、自転、回転などの方向の変化に対する反応能力の差はほとんどない。スキップとホップでは、3・4才とも前進が一番良く出来、次に回転で、後進は前進の場合の半数程度であり、特に3才男児においては全く出来ていない。

普通、遅く、速くの3通りの速度の変化を加えた律動運動能力テストの結果は第9表(その1, その2)および第2図に示す。全体的にみると、3才では2通りの変化に対してはかなりのものが応じられ、4才になると3通りの変化に対して応じられるものが増している。歩く、走る、両足とびについては、他の種目に比較すると、3才で速度の変化に対してかなり良い成績を示し、4才でも順調な伸びを見せている。

スキップとホップについては、3・4才ともに成績が悪く、特に3才男児においてはステップそのものできないため、速度の変化には全く応じられない。それぞれの種目についてどのテンポに合わせやすかったかを見ると、歩く場合は普通のテンポ、走る、スキップは遅いテンポ、両足とび、ホップは速いテンポである。速度の変化を加えた律動運動能力の男女差については、3・4才ともに女児の方が優れている。

(3) リズム遊びに関係が深いと思われる運動能力テストの結果は第10表に示す。

① ボールつき

3才から4才にかけて急激に成績の伸びが見られ、特に女児においていちじるしい。

② 棒上片足立ち

3才から4才にかけて順調に発達し、平衡性については男女差は見られない。

③ 連続片足とび

3才から4才にかけて急激に発達し、特に女児においていちじるしい。

④ 連続両足とび

3才から4才にかけて順調に発達し、女児の方がやや優れている。

これらの運動能力については3・4才ともに女児の方が優れているようである。

以上リズム遊びに関連する諸要素の発達について個々に考察を進めてきたが、総括すると、3才児は身体の協応動作はまだ不十分であり、乳児期の未分化な全体運動の域を出ない面もあるが、4才になると、次第に速度の変化に対しても反応でき、リズムカルな動きの種類も豊富になり、諸能力の発達が明らかに見られた。特に目立った面について次に述べる。

(1) スキップは自由遊びにおいて4才で急激に増加し、律動運動能力としてもいちじるしく発達を示している。

(2) 連続片足とびは4才で多く表われ、ほとんどのものができるようになり、運動能力としての発達もいちじるしい。

(3) 両足とびは3・4才ともに多く表われ、律動運動能力および運動能力としても、一応3才頃までに体得されるようである。

(4) 自由遊びにおいて、3才で全く表われなかったツーステップは、4才になってもわずかしか表われず、律動運動能力としてもほとんど出来ないことから、この年代での発達は見られない。

このように幼児のリズム遊びは、幼児の生活の全てである遊びを基盤にして、これらの諸要素が相互に関連して発達し、3才から4才にかけてのいちじるしい発達が見られた。また、実験Ⅰの即興による自由な動きのテストにおいても、3才では動きの種類が、歩く両足とび、走る、四つばいなどに限られ、4才になると、その他に片足とび、スキップなどが増加しているということから、この年代がリズム遊びとしての形態をとるようになる芽ばえの時期であると思われる。そこで、この時期にはより豊富な生活経験をさせることが大切であるが、特に自由遊びの中で、身体をリズムカルに動かし、楽しく、しかも変化に富んだ活動量のある遊びを経験させることが、リズム遊びの発達へつながらぬものであり、ひいてはリズム運動、ダンスへと発展する足がかりとなるものではなかろうか。

参 考 文 献

- 体育心理学（上下巻） 末利博著
発達心理学 守屋光雄著
保育心理学 守屋光雄著
幼稚園教育要領 文部省
小学校学習指導要領解説 文部省
高等学校学習指導要領解説 文部省
幼児の音楽リズム 教師養成研究会
幼児のリズム遊びの理論と実際 碓井エイ著
昭和42年度研究紀要Ⅱ 奈良女子大学文学部附属幼稚園幼年教育研究会
研究紀要第12号 岡山県立短期大学
幼児の教育第64巻第1号 日本幼稚園協会
幼児の教育第65巻第3号 日本幼稚園協会
幼児の教育第65巻第4号 日本幼稚園協会
こどものうた（資料） 岡山県立短期大学保育科
一ねんせいのおんがく 教育芸術社
二ねんせいのおんがく 教育芸術社
三年生のおんがく 教育芸術社
四年生のおんがく 教育芸術社
五年生のおんがく 教育芸術社
六年生のおんがく 教育芸術社
中学生の音楽Ⅰ 音楽の友社
中学生の音楽Ⅱ 音楽の友社
中学生の音楽Ⅲ 音楽の友社

昭和44年3月31日出稿

分類	記号	リズムパターン	3才	4才	5才	6才	小2	小5	中2	高2	計
基礎	○		15	15	19	16	52	28	25	13	183
	○		4	7	12	8	7	6	10	16	72
	△		0	1	3	12	14	17	8	3	58
	△		0	0	1	1	5	5	5	8	25
	△		0	0	0	0	0	1	0	6	1
かるいシンコペーション	○		0	0	0	0	0	1	4	5	10
	△		0	0	0	0	0	1	0	0	1
	△		0	0	0	1	2	2	9	8	22
	△		0	0	0	0	0	5	0	0	5
♪を含む	○		0	0	0	0	0	0	0	0	1
	△		0	0	0	0	0	0	1	0	1
♪を含むもの	△		1	6	6	8	1	16	3	0	41
	△		0	0	1	0	0	0	8	9	18
	△		0	0	0	0	0	0	0	2	2
2拍目にシンコペーション	△		0	0	0	0	1	0	5	2	8
	△		0	1	0	1	0	0	0	0	2
最近の音符を含むもの	△		0	0	0	0	0	0	0	5	5
	△		0	0	0	0	0	0	0	2	2
	△		0	0	1	0	0	0	0	0	1
	△		0	0	0	0	0	1	0	0	1
	△		0	0	0	0	0	0	1	0	1
母音	△		0	0	0	0	0	0	0	1	1

分類	記号	リズムパターン	3才	4才	5才	6才	小2	小5	中2	高2	計
基礎	△		3	1	2	10	27	27	8	14	92
	○		1	3	2	6	3	7	1	1	26
	△		0	0	0	0	6	0	7	1	14
	△		0	0	0	0	1	1	7	4	13
	△		0	0	0	0	1	3	3	5	12
	△		0	0	2	0	1	2	3	0	8
	△		0	0	1	0	0	0	7	0	8
	△		0	0	0	0	2	0	0	2	4
	○		0	0	0	0	0	1	0	1	2
	△		0	0	0	0	0	0	0	1	1
かるいシンコペーション	△		0	0	0	2	0	0	4	2	8
	○		0	0	0	0	0	0	3	0	3
	○		0	0	0	0	0	1	1	1	3
	△		0	0	2	0	0	0	0	0	2
	△		0	0	0	0	0	1	1	0	2
	△		0	0	0	1	0	0	0	0	1
♪を含むもの	○		0	0	2	0	0	1	0	1	4
	△		0	0	0	0	0	1	0	0	1
	△		0	0	0	0	0	0	1	0	1
2拍目にシンコペーション	○		0	0	0	0	0	0	0	1	1
長音符短音	○		0	0	0	0	0	2	0	1	3

分類	記号	リズムパターン	3才	4才	5才	6才	小2	小5	中2	高2	計
基礎	○		9	16	5	11	37	28	22	19	147
	△		1	12	8	15	16	11	6	11	74
	△		5	0	2	4	6	7	2	6	32
リズム	○		0	0	4	5	0	1	3	4	17
	△		0	0	0	0	2	2	0	9	13
	△		0	0	1	0	0	1	1	1	4
かべ る い ん の こ な	△		0	0	0	0	1	1	3	2	7
	○		0	0	0	0	0	4	5	2	11
	○		0	0	0	0	1	3	2	2	8
♪ を 含 む	△		0	0	0	0	0	2	3	3	8
	△		0	0	0	0	0	0	1	5	6
	△		0	1	2	8	3	3	0	1	18
を 含 む	△		0	0	0	0	0	1	1	1	3
	△		0	0	0	0	0	0	0	0	1
	△		0	0	0	0	0	0	0	0	1
の	△		0	0	0	0	0	0	1	0	1
	△		0	0	0	0	0	0	0	1	1
	△		0	0	0	0	0	0	0	1	1
2 拍 中 に 含 む の	△		0	0	0	0	0	0	2	0	2
	△		0	0	0	0	0	0	1	0	1
	△		0	0	0	0	0	0	0	1	1
長 短 の 音 符 を 含 む の	△		0	0	0	0	0	1	1	3	5
	△		0	0	0	0	0	0	2	1	3
	△		0	1	0	0	0	0	0	0	1
♪ を 含 む の	△		0	1	0	0	0	0	0	0	1
	△		0	0	0	0	0	1	0	0	1
	△		0	0	0	0	0	0	0	0	2
♪ を 含 む の	△		0	0	0	0	0	0	0	1	1
	△		0	0	0	0	0	0	0	0	1

第4表 音楽教科書中のリズムパターンとところごきのリズムパターンの比較

拍子 リズムパターン 種類数	4 4			3 4			2 4			6 8		
	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c
基礎リズム	52	16	1	31	8	0	23	5	0	25	10	1
かべの音符を含むもの	37	9	1	7	3	0	15	4	0	1	6	6
♪を含むもの	15	8	2	8	2	0	2	2	1	/	/	/
♪を含むもの	35	13	2	9	6	6	17	3	0	3	3	1
2拍中に音符を含むもの	39	4	2	15	3	2	13	2	0	4	1	1
長短の音符を含むもの	28	8	4	11	5	1	16	5	0	6	1	0
♪を含むもの	7	8	7	4	2	2	5	1	0	/	/	/

注 a ……音楽教科書中のリズムパターン種類数

b ……ところごきのリズムパターン種類数

c ……ところごきのリズムパターン中に含まないリズムパターン種類数

第5表 自由に動いた動きの種類と頻度

3	歩く (179) 両足とび (67) 四つ這い (39) 走る (39) 腹這い (13) 手の回旋 (5) 横走り (5) スキップ (3) 横歩き (2) オ しゃがんで両足とび (2) 足ぶみ (1) 進歩スキップ (1) すべる (1) こぐ (1)
4	両足とび (136) , 歩く (133) , 走る (93) 四つ這い (80) 腹這い (38) スキップ (37) フォロー (11) 横歩き (10) オ 片足とび (7) , 手渡動で動く (7) , 横走り (4) 足ぶみ (3) つま先歩き (2) すべる (1) しゃがんで歩く (1) 膝あるき (1)
5	走る (197) 歩く (159) 四つ這い (104) 両足とび (130) スキップ (73) 腹這い (11) ツーステップ (5) 片足ツーステッ オ プ (3) フォロー (2) 横歩き (1) いざる (1)
6	走る (226) 両足とび (146) スキップ (129) 歩く (110) 四つ這い (105) しゃがんで両足とび (61) 腹這い (34) しゃ オ がんで歩く (21) 片足とび (9) 手渡動で動く (5) ギャロップ (5) 四つ這いで遊ぶ (3) 手の回旋 (2) 横歩き (2) 片足とび回転(2) 歩走り (1) すべる (1) こぐ (1) ツーステップ (1) いざる (1) 回転 (1) 手渡動で走る (1) しゃがんで走る (1) しゃがんで歩く(1)
小	歩く (140) 両足とび (131) 四つ這い (58) 足ぶみ (67) 走る (55) しゃがんで両足とび (24) しゃがんで歩く (21) 横歩 2 き (18) ジャンプ (14) 手の渡動で動く (12) たたく (12) スキップ (9) 前屈 (5) しゃづつみ (4) 花の閉く様子 (4) 手を振る 前歩 (1) 滑とび (1) しゃがんだり立ったり (1) 餅やす動作 (1) 坐ったまゝ (1) 前屈高び (1) バランス (1) しゃがんで振れる(1) 年 手を置く (1) ホップ (1) 進歩 (1) スライド (1)
小	歩く (126) ツーステップ (53) 両足とび (51) ギャロップ (20) ビレットターン (20) 走る (19) スキップ (17) ジャン 5 プ (16) スライド (13) 手渡動で動く (13) 四つ這い (9) たたく (9) ホップ (9) 横歩き (8) しゃがんで両足とび (5) しゃが んで歩く (5) 打つ (4) リーフターン (4) フォロー (3) 手を振る (3) 振る動作 (3) まわる (3) ホップターン (3) 足ぶみ (2) 前屈 (2) ツーステップターン (2) こぐ (1) 回転 (1) 横とび (1) 膝あげて歩く (1) 進歩 (1) 引つばる (1) 穴をあける (1) 年 片足引るつり (1) 手の上下 (1) スリーステップ (1) ボルカステップ (1) ポイント (1) 投げる (1) 前けり (1) ポーズ (1)
中	歩く (156) バランス (89) 足ぶみ (59) 走る (50) 横歩き (31) ポイント (25) 両足とび (22) ショケイッシュステップ (22) 2 ジャンプ (21) 横とび (19) 踏み歩き (14) ホップ (13) フォロー (10) ツーステップ (10) スライド (10) 手上下 (10) 手を振る (9) スリーステップ (7) ワルツ (6) ビレットターン (6) 手を流すように (6) ぶらぶら歩き (6) 膝屈伸 (5) ギャロ 年 ップ (4) ポーズ (4) スキップ (3) 足ぶみかえて歩く(2) ホップしてポイント (2) 手を置く (2) 進歩 (2) 回転 (1) 片足とび (1) 前屈 (1) もの (1) 振る動作 (1) 胃を動かす (1) 足交叉 (1) 肘をらし (1) ワルツターン (1) カット (1) 手の回旋 (10)
高	歩く (176) ツーステップ (88) 走る (57) ジャンプ (44) 手上下 (33) ビレットターン (30) ホップ (23) 手の回旋(23) 2 手を振る (26) ポーズ (24) 背の屈伸 (22) スライド (21) フォロー (21) 横歩き (20) 手斜め上下 (17) 前屈 (16) フォ 年 ローターン (11) 回転 (10) ツーステップターン (10) バランス (9) 側屈 (9) ポイント (8) スキップ (7) ボルカステップ (6) 手のつき出し (6) 膝屈伸 (5) フォローポーズ (5) ショケイッシュステップ (5) 腕力 (5) 横とび (4) 前けり (4) アクセントをつ けて歩く (1) 手上下左右に揺らす (1) 歩いて遊ぶ (1) 足ぶみ (3) つま先歩き (3) ギャロップ (3) 餅やす動作 (3) スリーステ ップ (3) 片足上屈伸 (3) 手上下で合やす (3) 足を振る (3) 跳走り (2) 手を流すように (2) はずんで上に伸びる (2) 走ってホ ップ (2) 押す (2) 跳んで伏せる (2) 手の屈伸 (2) ビレット (2) 手交叉 (2) フォローして腕力 (2) カット (2) 両足とび (1) 手渡動で動く (1) こぐ (1) 片足とび (1) しゃがんで歩く (1) しゃがんだり立ったり (1) 引つばる (1) 斜め歩き (1) ワルツ(1) かゝとの上下 (1) 上体を揺らす (1) 歩いて伏せる (1) 肘にアクセント (1) スリーステップターン (1) 自伝 (1) スタンプ (1) 手を置く (1) 糸まき動作 (1)

第6表 自由遊びにおける動作の種類と頻数

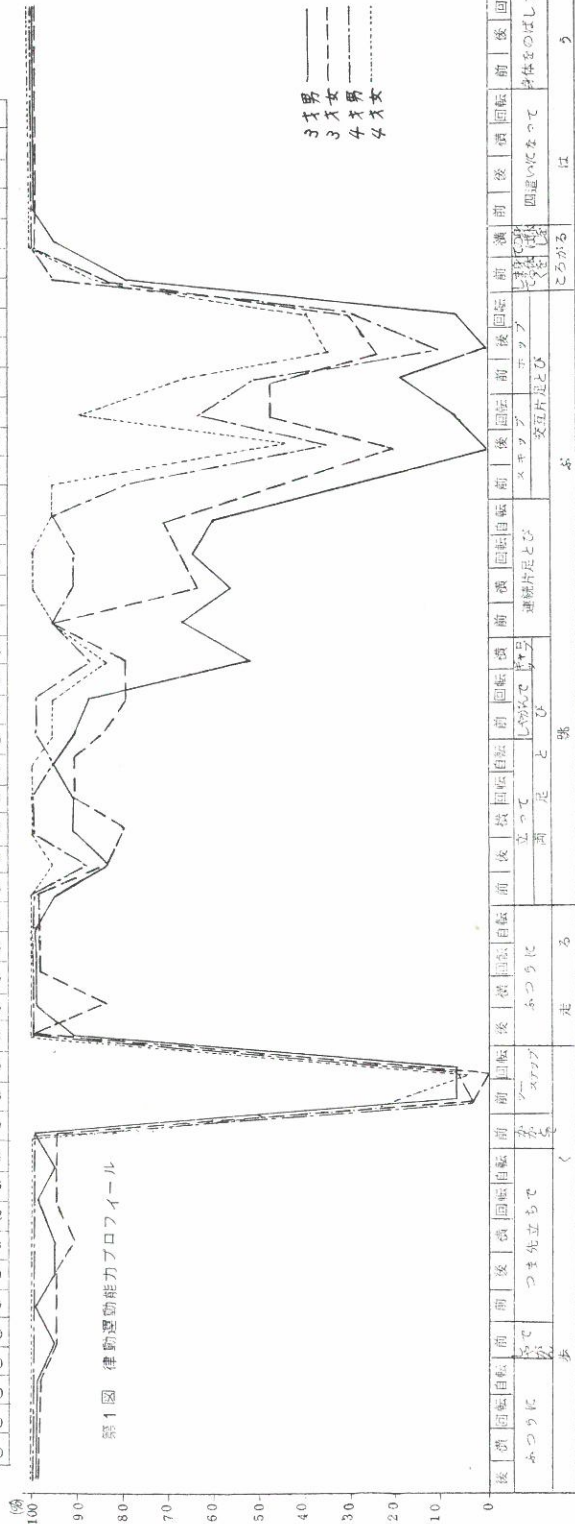
動作	3才				4才				動作	3才				4才			
	作	180	158	1	作	14	1	1		作	6	1	作	6	1	1	
歩	ふつろに前へ	3	4	1	片足とび	2	14	鉄	足かけぶら下り	6	1	作	上り	0	1		
	横歩	3	0	0	ギャロップ	3	0	運	前まわり	0	1	作	す	17			
	後歩	0	3	64	スキップ	4	64		押	17	3	作	す	17			
	回旋	12	22		高い所からとび	0	1		たたく	21	10	作	す	17			
	しゃがんで	0	4		しゃがむ	2	11		投げ	9	2	作	す	17			
	クーステップ	0	3		腰かける	128	72		引っぱる	6	1	作	す	17			
	膝歩	1	1	29	お尻をつけて	16	48	七	なで	3	1	作	す	17			
	かかとで	2	0	わ	正座	21	2		引っぱられる	1	0	作	す	17			
	物を押して	1	0	る	長座	3	7		揺る	2	2	作	す	17			
	拍手しながら	0	1		いざる	0	13		すべ	10	6	作	す	17			
	腰を曲げて	0	1		四這い	20	22	〇	またぐ	7	3	作	す	17			
	足ぶみ	2	5		う這い	5	9		ね	8	5	作	す	17			
	立ち上る	173	126		演	2	5		もたれる	6	8	作	す	17			
	じっと立つ	17	8		山の登りあり	46	31		踏みつける	5	0	作	す	17			
	両膝立ち	2	3		はしごを登る	9	27	他	あがる	8	10	作	す	17			
	片膝立ち	6	14		木のぼり	1	0		け	1	4	作	す	17			
	片足立ち	3	4		よじのぼる	1	1		け	1	4	作	す	17			
	足交又で	0	9		手を	6	6		パランスをとる	1	1	作	す	17			
	つま先立ち	1	2		足を	7	15		おさる	2	6	作	す	17			
	ふつろに前へ	155	140		首	1	0		くぐる	0	2	作	す	17			
	横	6	2		体をゆする	12	0		自転車こぎ	0	2	作	す	17			
	回旋	0	4		首	4	8		おぶさる	0	1	作	す	17			
	踵歩ランニング	0	2		体をゆする	12	0		手を洗う	7	0	作	す	17			
	物を押して	1	0		膝	1	3		ぬ	5	2	作	す	17			
	かけのぼる	0	3		膝	1	3		切	る	2	0	作	す	17		
	立つて両足とび	34	47		肩	9	5		手の回	3	0	作	す	17			
	横とび	2	0		肩	2	0					作	す	17			
	しゃがんで	0	4		背	5	8					作	す	17			
	その場とび	4	5		髭	3	6					作	す	17			

第7表 自由遊びでの律動運動(頻数)

歩	身体支配の方法	方向	頻数	
			3才	4才
歩	ふつろに	前	180	158
		後	0	3
		横	3	4
	回旋	12	22	
く	しゃがんで	前	0	4
		前	2	0
走	クーステップ	前	0	3
		前	155	140
		横	6	2
走	ふつろに	横	0	4
		回旋	34	47
		前	6	2
跳	立って	横	0	4
		前	3	0
		横	3	0
跳	しゃがんで	前	0	4
		横	0	4
		前	0	4
跳	ギャロップ	前	0	4
		横	0	4
		前	0	4
跳	片足とび	前	2	14
		前	4	64
		前	0	1
跳	スキップ	前	0	1
		前	2	6
		前	2	6
跳	回旋	前	2	6
		前	2	6
		前	2	6
跳	四這い	前	2	6
		前	2	6
		前	2	6
跳	身体をのびして	前	2	6
		前	2	6
		前	2	6

第8表 律動運動能力テスト結果 (%)

身体支配の方法	方向	3才			4才			
		男	女	計	男	女	計	
歩	ふつうに	後	100	100	100	100	100	100
		横	100	100	100	100	100	100
		回転	100	100	100	100	100	100
		自転	100	100	100	100	100	100
く	つみ先立ち	前	96	96	96	100	100	100
		後	96	96	96	100	100	100
		横	96	38	92	100	100	100
		回転	100	96	98	100	100	100
走	ふつうに	前	100	96	98	100	100	100
		後	96	96	96	100	100	100
		横	96	96	96	100	100	100
		自転	96	96	96	100	100	100
走	ふつうに	前	100	96	98	100	100	100
		後	8	4	6	4	24	14
		横	8	0	4	8	4	6
		自転	8	0	4	8	4	6
眺	両足とび	前	96	100	98	100	100	100
		後	84	84	84	88	96	92
		横	92	80	86	100	100	100
		回転	92	92	92	100	100	100
	しゃがんで	前	92	84	88	100	96	98
		後	88	80	84	100	96	98
		横	52	60	66	88	84	86
		自転	68	66	62	96	96	96
	連続片足とび	前	68	66	62	96	96	96
		後	56	64	60	92	100	96
		横	64	68	66	92	100	98
		自転	60	72	66	96	96	96
交互片足とび	前	28	48	38	80	96	88	
	後	0	20	10	36	44	40	
	横	8	48	28	64	92	76	
	自転	8	48	28	64	92	76	
ところがる	前	20	48	34	52	68	60	
	後	0	24	12	12	36	24	
	横	8	32	20	32	40	36	
	自転	80	84	82	96	88	92	
は	四這いになって	前	100	100	100	100	100	100
		後	100	100	100	100	100	100
		横	100	100	100	100	100	100
		回転	100	100	100	100	100	100
	身体を曲げて	前	100	100	100	100	100	100
		後	100	100	100	100	100	100
		横	100	100	100	100	100	100
		自転	100	100	100	100	100	100

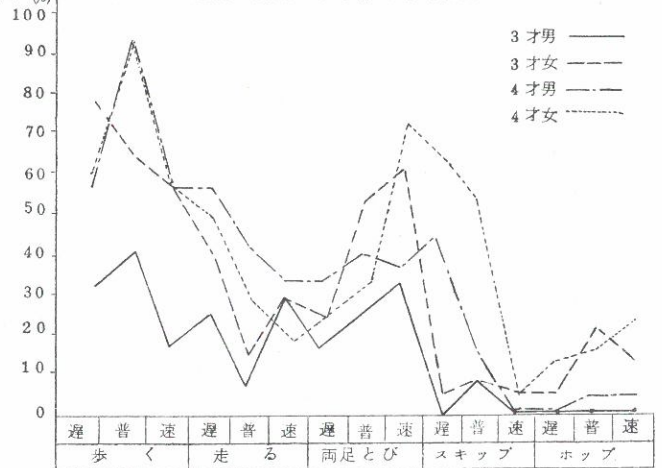


第9表 速度の変化を加えた律動運動能力テスト結果(%)

その1

身支の 方 体配法	速 度	3 才			4 才		
		男	女	計	男	女	計
歩	遅 く	32	76	54	56	60	58
	ふつうに	40	64	52	92	92	92
く	速 く	16	56	36	56	56	56
	遅 く	24	40	32	56	48	52
走	ふつうに	8	12	10	44	28	36
	速 く	28	28	28	32	20	26
両 足 と び	遅 く	16	24	20	32	24	28
	ふつうに	24	52	38	40	32	36
ス キ ッ プ	遅 く	0	20	10	44	60	52
	ふつうに	8	8	8	16	52	34
ホ ッ プ	速 く	0	4	2	0	4	2
	遅 く	0	4	2	0	12	6
ッ ブ	ふつうに	0	20	10	4	16	10
	速 く	0	12	6	4	24	14

第2図 速度の変化による律動運動能力プロフィール



第10表 運動能力テスト結果

その2

身支の 方 体配法	速度の変化	3 才			4 才		
		男	女	計	男	女	計
歩 く	3通りできた	8	40	24	44	48	46
	2通りできた	20	28	24	16	16	16
	1通りできた	24	20	22	40	32	36
	全然できない	48	12	30	0	4	2
走 る	3通りできた	0	0	0	24	12	18
	2通りできた	16	20	18	20	20	20
	1通りできた	28	40	34	20	20	20
	全然できない	56	40	48	36	48	42
両 足 と び	3通りできた	4	8	6	12	16	14
	2通りできた	16	44	30	24	16	20
	1通りできた	28	24	26	24	48	36
	全然できない	52	24	38	40	20	30
ス キ ッ プ	3通りできた	0	4	2	0	0	0
	2通りできた	0	4	2	12	40	26
	1通りできた	8	12	10	36	36	36
	全然できない	92	80	86	52	24	38
ホ ッ プ	3通りできた	0	4	2	0	4	2
	2通りできた	0	4	2	0	4	2
	1通りできた	0	16	8	8	32	20
	全然できない	100	76	88	92	60	76

(註)

- ・3通りできた
普通、遅く、速くのいずれにも対応できた。
- ・2通りできた
普通、遅く、速くのうち2通りの速度に対応できた。
- ・1通りできた
普通、遅く、速くのうち1通りにだけ対応できた。

年 令 性 別	項目	ホール	繰上片	連続片	連続両
		つき (回)	足立ち (秒)	足とび (m)	足とび (m)
3 才 女	平均値	1.94	1.97	6.43	16.91
	標準偏差	1.03	1.71	6.83	8.20
	最高値	12	6.5	50	42
	最低値	0	0	0	0
4 才 女	平均値	4.96	4.47	3.66	21.32
	標準偏差	4.26	3.38	9.84	8.25
	最高値	34	25.5	42	50
	最低値	0	0	0	0
3 才 男	平均値	1.56	1.68	6.62	15.58
	標準偏差	0.64	1.72	7.52	10.51
	最高値	4	6.5	50	42
	最低値	0	0	0	0
3 才 女	平均値	2.35	2.26	6.24	18.24
	標準偏差	1.42	1.69	6.14	5.89
	最高値	12	5.5	21	42
	最低値	0	0	0	2.2
4 才 男	平均値	2.68	4.93	12.65	19.90
	標準偏差	1.35	4.52	10.43	8.00
	最高値	12	25.5	42	46
	最低値	0	1	0	1
4 才 女	平均値	7.24	4.01	14.68	22.74
	標準偏差	7.16	2.23	9.24	8.49
	最高値	34	12.5	35	50
	最低値	0	1.4	0	2.4